

令和元年度山内図書館の目標

今年度、山内図書館は、以下の目標について特に重点的に取り組みます。
この目標は「横浜市立図書館アクションプラン（第2期）」に基づいて策定しています。

基本目標：市民の読書活動を支える地域の情報拠点

重点項目1 市民の読書活動を支える図書館

地域特性に応じた読書活動の推進

【具体的取組】

区民の読書活動を推進するため、区役所と連携して講演会等の事業を実施し、相互にPRを行います。

青葉区の歴史や文化を次代に伝えるため、伝統芸能を見学する講座と郷土の紙芝居の口演を開催します。1月には、郷土カルタを使った子ども向けのカルタ大会を開催します。

帰宅途中に図書館へ立ち寄れる平日夜の時間帯にブックカフェを開催します。名称を「あざみ野ブックカフェ」とし、おいしい紅茶をのみながら、講師の話の話を聞くという企画です。

育児中の親が読書を楽しむための支援として、図書館内で乳幼児を預かる託児サービスを実施します。

家庭での読書活動の支援

【具体的取組】

子どもが読書に親しみ読書習慣を身につける機会を提供するおはなし会をボランティアと協力して開催します。毎月行っている定例おはなし会以外に、夏のおはなし祭り（2日間）や多文化理解を深める英語のおはなし会を2回（春・秋）開催します。

学校への支援と学校教育への協力

【具体的取組】

「学校向けプログラム」を区内の小中学校全校に校長会を通して配付し、図書館による学校教育活動支援の様々なプログラムを、学校図書館担当教諭や学校司書、ボランティアにPRします。

児童生徒向けには、図書館見学や職業体験生を受入れます。学校図書館担当教諭や学校司書からの相談にのり、教職員向け貸出などの際にレファレンスサービスを行います。希望があれば訪問して支援を行います。また、保護者、ボランティア向けに、学校図書館環境整備講座、読み聞かせ講座を開催します。

地域の読書活動への支援

【具体的取組】

地域で活動するボランティアを育成・支援するため、読み聞かせ等の講座の開催と活動の場を提供します。協力事業「青葉おはなしフェスティバル」は、本年度活動20周年を迎えるため、記念展示を実施し、区役所・地区センターと連携してPRを行います。

昨年度までと同様、地域ボランティアと協力し、大人向けのおはなし会や、本の修理ボランティアによる一般家庭の本を修理する「本の病院」等の事業を開催します。

重点項目2 地域の情報拠点としての図書館

市民の課題解決と読書活動に役立つ資料の収集

【具体的取組】

青葉区民の平均寿命が高い（男性全国1位、女性9位 典拠：平成27年市区町村別生命表）という地域性を踏まえ、元気な高齢者を支援する活動を行います。知的好奇心を刺激し教養を深めるような図書を選定し、展示などで紹介します。また、2020年のオリンピック・パラリンピックに向け、文化交流の手助けになるような語学学習の関連図書を充実させます。

資料の保存環境の整備

【具体的取組】

区内の映像や写真を収集してデジタル化し、アーカイブとしてまとめる事業「あおば映像・画像ライブラリープロジェクト」を起ち上げます。市民からメンバーを募集し、職員と共同でプロジェクトを進行します。DVDの作成やホームページへの掲載など、公開への準備をすすめます。

資料の活用と情報発信

【具体的取組】

青葉区内の広報紙（広報よこはま、タウンニュース、ひろたりあん通信）に毎月情報を提供して、幅広く広報活動を行います。

隔月で青葉区広報ラジオに出演し、図書館で行うイベントや図書館の情報を発信します。

ホームページやSNSの情報更新に努め、地域の情報や図書館でのイベント情報を発信します。

市民の学習活動・課題解決の支援

【具体的取組】

月ごとにテーマを立てた図書展示を行うほか、文学賞の受賞・作家の追悼等の時節に即した図書展示を実施します。

市民や学校、団体、区役所等と協働し、資料展示などの企画事業を開催します。

市民の学習支援のため、大人向けに新聞データベースの調べ方講座、子ども向けには科学講座を開催します。

人材育成の推進

【具体的取組】

個々の職員のスキルアップを図ります。山内図書館で独自に研修を行うほか、中央図書館、県立図書館および神奈川県図書館協会の研修など外部研修に積極的に職員を参加させます。

重点項目3 誰もが利用しやすい図書館

市民の意見を反映した図書館運営

【具体的取組】

年2回利用者フォーラムを開催し、図書館への要望や新事業へのアイデア等をあげてもらいます。「あおば映像・画像ライブラリープロジェクト」は昨年度の利用者フォーラムでのアイデアを受けたものです。

昨年度は、初めてインターネットアンケートを実施しました。経年では、来館者満足度調査、非来館者アンケート等を実施しており、今年度も手法を検討した上でアンケートを実施します。

山内図書館独自目標

【具体的取組】

視覚障害者にとどまらず、幅広く障害者の支援を行っていきます。資料の充実を図るとともに、タブレットを活用したコミュニケーション支援ができるように整備していきます。

「あざみ野ブックカフェ」や「あおば映像・画像ライブラリープロジェクト」の定例会等、夜間開館時間を活用した事業を行います。夜間開館アピールのための環境整備として玄関の照明の見直しを行います。

図書館の事業を推進するにあたり、事業のための資金を集める工夫や寄附の呼びかけを行います。今年度は企業の支援金を得て、地域の子どもたちと野菜について調べて畑を作る事業「あおばの野菜を調べる・育てる・食べる」を企画しています。夜間開催している「あざみ野ブックカフェ」には、お茶の会社から紅茶を提供してもらっています。